

新福岡県立美術館に併設する飲食店等の検討に係る サウンディング調査の結果概要

新福岡県立美術館に併設する飲食店等の検討に係るサウンディング調査結果の概要を公表いたします。

1. 調査概要

令和 11 年度開館予定の新福岡県立美術館（以下、新県美）は、来館者が施設を快適に利用できる環境を整備することを目的に、飲食店（1 階：レストラン、3 階：カフェ）を併設する予定となっています。

一方、近年では、美術館等の公共施設から飲食店が撤退するなどの事象が散見されるなどしていることから、新県美において安定した誘客を図り、恒常的に飲食店が運営できるよう事業者の公募前にサウンディング調査を実施しました。そこで、新県美にふさわしい飲食店施設の業態・業種及び事業内容を検討することに加え、飲食店事業者の意向を事前に調査し、事業を検討することが必要との認識の下、本県 web サイトを通じた事前アンケート（令和 6 年 11 月 15 日～令和 7 年 1 月 31 日）と、アンケートで面談の申込みがあった全事業者へヒアリング調査（令和 6 年 12 月～令和 7 年 3 月）を行いました。

サウンディング調査参加事業者

事前アンケートの回答者	福岡県内外の 17 事業者
個別ヒアリング	上記の事業者のうち面談希望があった 12 事業者

2. 調査結果の概要

【出店を想定する業種・業態について】

- カフェスペースについては、ほぼすべての事業者がカフェでの出店を想定されていましたが、少人数でのセミセルフ方式からフルサービス方式まで、様々な運営形態が提案されました。
- レストランスペースについては比較的高級な日本食、イタリアンから、うどん店、カフェなど、希望があった事業者が現在展開している業態を提案されました。
- カフェ・レストランスペース共通して、この新県美への出店に向けて新しい業態や店舗のフォーマットを開発したいという意欲的な提案もありました。

【美術館特有の制約に対する考え方・課題等について】

- 新県美の厨房ではガス機器が使用できませんが、面談した事業者には解決不可能な問題と考える事業者はありませんでした。
- 収蔵品の保存環境を安定させるため、建物のコンクリート工事完了後ふた夏の経過期間が必要であり、カフェスペースとレストランスペースとで開業時期が異なる場合があることに関してほぼすべての事業者に理解いただきました。
- レストランスペースについては、新県美の開館に先行して開業を希望する提案もありました。

【その他の提案】

- 防虫、防鼠などに必要な設備面での工夫や食材搬入の動線、厨房とホール、席のレイアウトなど、設計に係る点に対しても、様々な提案をいただきました。

3. 今後の予定

事業者の皆様の創意工夫を最大限発揮していただくため、いただいた意見・提案等を参考に、今後の設計や事業者選定に関わる公募条件、要求水準などの検討を進めてまいります。